

第6回農楽塾 春期講師プロフィール 群馬オペラアカデミー2017

■中嶋彰子/ソプラノ（ヴォーカル・テクニク、リート）



板倉町/オーストリア・ウィーン在住。
シドニー大学・音楽院卒業。1990年、全豪オペラ・コンクールで優勝。同年、シドニー・オペラハウスとメルボルン・オペラでデビューを飾る。1992年にはサン・カルロ歌劇場にてヨーロッパデビューを果たし、ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約を結んだ。1999年からは、日本での本格的な活動もスタートする。2012年以降はプロデュースや演出にも力を入れ、2014年には、よみうり大手町ホールで開催された「モーツァルトハウス・ウィーン in ジャパン 2014」で総合企画監督を務め、高い評価を得る。2016年には中嶋彰子プロデュースの舞台作「夢幻能-月に憑かれたピエロ」がスイスのシオン国際音楽祭に参加し欧州でも高い評価を得る。第14回「出光音楽賞」受賞。モーツァルトハウス・ウィーン、アーティストック・アドバイザー。2016年2月よりウィーン私立音楽大学(MUK)舞台芸術学部声楽・オペラ科独唱専攻の講師に就任。群馬オペラアカデミー農楽塾(のうらじゅく)総監督。ぐんま観光特使。

■村上明美/ピアニスト（リート、歌曲伴奏）



ドイツ・ミュンヘン在住。
ミュンヘン国立音楽大学大学院リート伴奏科にて、ヘルムート・ドイチュ、ドナルド・ズルツェン両氏のもとマイスター・ディプロムを取得。2015年、宮廷歌手アンゲリカ・キルヒシュラーガー女史のピアニストとしてウィーンにて歌曲演奏会デビュー。これまでにオーストリア、ベルギー、イギリス等ドイツ国内外の国際音楽祭、演奏会に多数リートピアニストとして召集される。ミュンヘン国際音楽コンクール声楽部門にて、2015年、公式ピアニストを務める他、マスタークラスやワークショップでも声楽伴奏ピアニストとして活躍している。2017年よりミュンヘン宮廷内マックス・ヨーゼフ・ホールにて開催される歌曲演奏会シリーズ「LIEDERLEBEN」では、プロデューサー兼音楽監督を務める。同年、リート・デュオパートナーのアンドレアス・ブルクハルトとのCDデビューも予定されている。

■ マルク メゲレ/テノール(リート、ドイツ語)



ドイツ・ミュンヘン在住。

ケルン国立音楽大学音楽部オーボエ科、ミュンヘン国立音楽大学音楽部声楽科卒業。ミュンヘン室内楽オーケストラ、バイエルン放送局オーケストラと共演の他、ミュンヘン・プリンツレーゲンテン劇場にてオペラデビュー。歌曲、オラトリオの分野でも活躍し、これまでにシュヴェツィンゲン音楽祭やベルガモ・ドニゼッティ音楽祭に出演。2008年より、男声アンサンブルメンバー「ノスタルフォニカー」の一員として、ドイツ各地、南アメリカや日本など国際的に演奏活動を積極的に行っている。これまでに、ソリストとしてバイエルン放送局オーケストラとのCDがリリースされている。

■ マルコ グラツソ/ダンテ協会ウィーン支部事務局長(イタリア語)



イタリア・ジェノバ出身。1993年よりオーストリア・ウィーン在住。

ウィーン大学大学院日本学科卒業。2012年よりイタリア文化を振興する文化機関ダンテ協会ウィーン支部事務局長。これまで、ウィーン商工会議所主催イタリア語スピーチコンテスト全国審査員、イタリア語検定 PLIDA ウィーン責任者等の他、文化振興としてイタリア大使館でのピアノリサイタル、オーストリア国会議事堂でのイタリア EU 議長国記念祭、国際的音楽家による講習会をダンテ協会ウィーン支部にて主催・共催している。

■ 今井寛子/ピアニスト(イタリア語)



1997年よりオーストリア・ウィーン在住。

ウィーン国立音大大学院ピアノ演奏科卒業。日本演奏連盟主催による東京文化会館でのデビューリサイタルを始め、“シンフォニー・オーケストラ・ベルリン”とのベルリンフィルハーモニー大ホールでの共演、中東にてテレビ中継されたトルコ・イスタンブール国際音楽祭出演等、これまで多数の音楽祭に出演。中でもイタリアでのリサイタルを多く行っており、2013年よりブレシャ音楽院ピアノ教授のジェラルド・キミーニ氏と共にイタリア、ガルダ湖にて、チェントロ・ストウーディ基金ピアノ・マスタークラスを主催している。